



JTUC-aomori

No.345 2018年9月10日

れんごう青森

発行 日本労働組合総連合会
青森県連合会(連合青森)
発行人 山内裕幸 編集人 堤 史子
青森市本町3丁目3の11
青森県労働福祉会館内
TEL (017)735-0551
FAX (017)735-0553
URL <http://aomori.jtuc-rengo.jp/>
月1回発行 1部10円
(組合員の購読料は会費の中に含む)

政治と労働運動の連携に一層の力を！

2018年第2回連合青森構成組織内議員懇談会



連合青森は8月24日(金)、青森市の県労働福祉会館で「2018年第2回連合青森構成組織内議員懇談会」を開催し、連合青森政治センター幹事等15名と連合青森組織内議員13名が参加し、連合青森が目指す政治的課題や政策的課題等について意見交換をした。

主催者あいさつに立った連合青森内村隆志会長は「組織内議員数が20年前と比べ半数にまで減り、推薦議員さえも減ってきている。この延長線上に現在の国会の状況や政治に対する意識低下があると思われる」と述べ、「国政において統一候補擁立をせざる負えない現状もあるが、各自治体においても同様に考えていかななくては連合のめざす政策実現は遠のいていく。働く者、生活する者の環境改善のために政治と労働運動の連携に一層の協力をお願いする」と強調した。

続いて各自治体での公契約条例の進捗状況や各議会での課題など意見交換に入った。

公契約条例について、「本県においては介護、建設従事者が不足している。総合評価方式に賃金、労働条件も組み込むことで技術者確保につながるのではないかと」「条例制定により企業の利益につながるなどの有効点が理解されていない」受

注額の使い道が委託先に任されており、賃金の把握がされておらず、最賃割れすら起こしている所もあり、これが原因で人手不足を起こしているケースもある」など様々な意見が出された。

またこの意見交換会前段には連合総合労働局・亀井彰氏を講師に招き、「公契約条例学習会」を開催した。公共事業の落札においては委託企業間の価格競争の激化により、低価格の受注に伴った手抜き工事や下請け業者へのしわ寄せ、労働者の賃金・労働条件の悪化など様々な問題が生じていることを受け、公契約のもとで働く人たちの賃金下限額や自治体の責任を条例に定める必要性を述べた。また財源が税金という公共サービスは、地域の活性化なくして成り立たず、そのためには質の向上と安心して生活できる環境など好循環サイクルの確立の必要性も説明された。



連合総合労働局・亀井彰氏

2018平和行動 in 広島・長崎

語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で恒久平和を実現しよう

連合は6月から9月までを「全国平和運動強化期間」と定め、平和4行動をはじめとする様々な運動に行い、戦争による惨禍が再び起こることが無いよう、恒久平和を希求するとともに戦没者の霊を慰めるために取り組んでいる。

2018平和行動in広島は8月5日(日)～6日(月)、また長崎は8月8日(水)～9日(木)の日程で、全国から連合組合員など広島2,138名、長崎には3,360名もが参加した。連合青森からは長崎に東青地協青年委員会の西田寿也幹事が派遣された。

「連合2018 平和ナガサキ集会に参加して」

2018年8月9日でナガサキは被爆73年を迎えました。私は8月8日に「連合2018平和ナガサキ集会」、8月9日に「2018PEACE WALK」、「万灯流し」に参加させて頂きました。

「平和ナガサキ集会」では長崎県知事・長崎市長はじめ各団体代表の方々から、原爆への思い・長崎市民への思いが語られ、被爆者から体験談を聞くことができました。

「PEACE WALK」では平和公園・原子爆弾落下中心地碑にある建物や寄贈品をコースに沿って歩き、見て、説明をして頂きました。

「万灯流し」では一人一つ平和への思いを書いた万灯を長崎市営陸上競技場横にある浦上川へ流しました。夕暮れ時たくさんの万灯が連なって流れていく様子を橋の上から見たとき悲しい気持ちになり「もう二度とこんな悲劇を繰り返さないでほしい」、

「被爆者にみんなの思いが届け!」と折り、手を合わせました。

また今回初めて参加させて頂き、たくさん心に残った言葉を聞くことが出来ました。オープニングでは『人の生活を壊すのも人』『人の生活をなおすのも人』『それをしない、させないのも人』、高校生平和大使からは『ビリヨクだけどもリヨクじゃない!』

集会に参加し、聞いた話や言葉を胸に刻み、ビリヨクではあるけれどもこれからも核兵器廃絶と恒久平和への活動に参加・協力をしていきます!
東青地協青年委員会幹事 西田寿也(自動車総連)



高校生平和大使の皆さんと

連合青森第19回地方委員会

連合青森第19回地方委員会を下記にて開催する。

【日時】2018年10月23日(火) 13:00

【場所】弘前市「弘前パークホテル」
弘前市土手町126

【報告】(1) 2018年度活動報告
(2) 2018年度会計報告
(3) 2018年度会計監査報告

【議事】(1) 2018～2019年度運動方針補強案
(2) 2018年度一般会計収支剰余金処理案
(3) 2019年度予算案
(4) 第15期役員補充
(5) その他

【他】(1) 連合愛のカンパ地域助成金贈呈式

2018年9月行動予定 9月10日現在

- 9月11日(火) 15時 県労働福祉会館 「第7回三役会議」
- 9月11日(火) 17時 県労働福祉会館 「第7回政治センター幹事会」
- 9月11日(火) 17時30分 県労働福祉会館 「非正規労働者に関わる学習会」
- 9月14日(金) 18時 連合青森 「第4回女性委員会幹事会」
- 9月15日(土) 13時～16日(日) 12時 東北町 「2018ユースラリー」・「列島クリーンキャンペーン」
- 9月18日(火) 13時30分 県労働福祉会館 「第10回執行委員会」・「労金・労済取り組み拡大に向けた研修会」
- 9月24日(月・祝) 12時30分 県労働福祉会館 「連合青森カーリング教室・交流会」
- 9月25日(火) 18時 青森市 「県知事との懇談会」

安心・安全・安定した県民生活の実現をめざして

雇用・労働・福祉・医療など8分野27項目を県に要請

連合青森は8月30日（木）、2018年度政策・制度要求と提言「安心・安全・安定した県民生活の実現をめざして」と題し、県に政策要請を行った。

この要請は政策課題について意見をまとめ、翌年度の県の施策に反映させるために実施している。

青森県の景気は緩やかに回復基調にあるものの、多くの働く者や生活者が景気回復を実感するまでには至らず、新規学卒者を含む求職者の県外流出など人財の確保・定着化は深刻な課題となっている。連合青森は「働くことを軸とする安心社会」に向け、誰もが安心して生活できる元気で魅力ある青森づくり、安定した雇用システム、また安心できる社会保障の再構築等、様々な取り組みを推し進めており、今年度の要請は①雇用・労働、②福祉・医療、③子育て・教育、④環境・防災、⑤農林漁業、⑥公共交通、⑦まちづくり、⑧資源・エネルギーの8分野27項目にわたってまとめられた。雇用・労働の分野では教職員の長時間労働の是正や、消費者・地域活性の分野では倫理的な消費者行動の促進などが盛り込まれた。

この日の要請には、連合青森から内村隆志会長を始め5名、また連合青森推薦議員の一戸富美雄



三村知事に要請書を
手渡す内村会長

県議会議員と田名部定男県議会議員が出席し、県は三村申吾知事、田中泰宏商工労働部長など4名が対応した。

内村会長は「少子高齢化、労働力不足が深刻化している中、U I J ターンの推進、高校生の地元就職推進など県の取り組みをさらに強化して頂きたい。また本県の基幹産業である農林水産業においては後継者問題、T P P 発効を見据えた対策の充実に向け、来年度予算への反映に向け前向きな検討をお願いする」と要望した。

三村知事は「産業雇用施策は県政の最重要課題。安定的で質の高い雇用の創出とU I J ターンでは戻って来られる環境の構築と人生で目標が実現できる青森をつくるよう、各市町村と連携し取り組んでいく」と回答した。

県からの回答は来年2月の予定となっている。

毎月5日は『連合の日』

連合では毎月5日を『連合の日』と設定し、組織活動の活性化をはかり運動の輪・信頼の輪を広げるべく各種取り組みを行うこととしている。

連合青森も『連合の日』について5日を中心に街宣行動を主として取り組み、連合青森として抱える課題の共有化、各産別・産業にある現状課題を県民に対し、広く訴えていくこととした。

9月の取り組みは、県最低賃金が10月4日から24円アップし762円になることや、2015年施行の改定労働者派遣法により受け入れ期間の上限3年が9月末であり、以降は無期雇用転換など雇用安定措置を設けなくてはいけないなど、来月10月に改定となるポイントを周知する街頭行動となった。



8月連合の日。
三國副会長も参加



9月連合の日。
金沢副会長、田名部匡代
参議院議員も参加

青森市議会議員選挙・推薦候補者5名の必勝を！

連合青森は2018年に開催した各執行委員会で、2018年10月28日投票で実施される青森市議会議員

選挙（定数35）に下記5名について連合青森組織内推薦候補者とすることを決定した。



秋村 光男（あきむら みつお）

- ①昭和22年8月9日（71歳）
- ②現4期
- ③J R総連
- ④無所属

【最終学歴・職歴】

- ・昭和41年3月 青森県立青森工業高等学校 卒業
- ・昭和41年4月 日本国有鉄道青森機関区 入社
- ・平成6年7月 J R東労組青森支部委員長 就任
- ・平成14年2月 青森市議会議員初当選
- ・平成17年8月 J R東日本旅客鉄道株式会社退社
- ・平成26年10月 青森市議会議員4期目当選



姥名 和子（えびな かずこ）

- ①昭和28年8月2日（65歳）
- ②新人
- ③自治労
- ④社民党

【最終学歴・職歴】

- ・昭和47年3月 青森県立野辺地高等学校 卒業
- ・昭和47年4月 青森県庁 採用
- ・平成20年3月 青森県庁 勸奨退職
- ・平成22年5月 青森県職労組織拡大専門員



竹山 美虎（たけやま よしとら）

- ①昭和36年3月30日（57歳）
- ②現2期
- ③電力総連
- ④無所属

【最終学歴・職歴】

- ・昭和54年3月 青森県立田名部高等学校 卒業
- ・昭和54年4月 東北電力(株) 入社
- ・平成13年10月 連合青森事務局長 就任
- ・平成18年10月 東北電労青森県本部委員長 就任
- ・平成22年10月 青森市議会議員初当選
- ・平成26年10月 青森市議会議員2期目当選



奈良 祥孝（なら よしたか）

- ①昭和35年4月13日（58歳）
- ②現7期
- ③情報労連
- ④国民民主党

【最終学歴・職歴】

- ・昭和54年3月 青森県立青森北高等学校 卒業
- ・昭和54年4月 電電公社 入社
- ・平成2年2月 青森市議会議員初当選
- ・平成13年3月 NTT東日本(株) 退社
- ・平成26年10月 青森市議会議員7期目当選



藤田 誠（ふじた まこと）

- ①昭和28年7月16日（65歳）
- ②現2期
- ③自治労
- ④社民党

【最終学歴・職歴】

- ・昭和47年3月 青森県立青森工業高等学校 卒業
- ・昭和51年10月 青森市役所 勤務
- ・平成19年10月 青森市職労中央執行委員長 就任
- ・平成21年12月 連合青森東青地協議長 就任
- ・平成22年10月 青森市議会議員初当選
- ・平成26年10月 青森市議会議員2期目当選

※①候補予定者生年月日、②当選回数、③出身（推薦）組織、④所属政党